



65期生が教えてくれた

三年生を送る会

日常 仲間 自治 の意味

「贈る言葉」要約

二大行事が成功したのは、普段の音楽と体育の授業をしっかり受けたことはもちろん、**普段から互いに注意しあえる関係がつくれていた**ことが大きな要因だ。偶然、同じ教室、班で生活を共にする仲間同士だからこそ、ルールを守り、仲良くすることが集団の力になる。特別な時にだけ、特別なパワーを出して頑張るのではなく、仲間とつながる活動を日々、大切にできた65期生を誇りに思う。

日常

仲間

班ノートは心をつなぐもの。自分一人では解決できなかった事も、**仲間と力を合わせれば解決できる**。班長の力を借り、私たちの気持ちがクラスの子に届いた時、これが仲間とつながることなんだとわかった。この三年間で、仲間の大切さ、協力すること、互いの気持ちを認め合うことを学んだ。2月の学校だよりに書いてあったように、「10年後、20年後もつながっている仲間」でありたい。

本当の自治力というのは、「私たちが、班やクラスのつながりを豊かにして、日常での班やクラスの諸問題を自分たちで解決する」力のこと。遅刻をへらすことを目的とせず、「なぜ遅刻してくるのだろう」と、その子の気持ちになり、理解し、どういうアプローチの仕方があるのかと悩む・・・、**その子が頑張ってくれたら、自分もうれしい・・・**、このような経験を繰り返す中で、**本当の自治力が身につくのだ**と思う。

これが、65期生の学年目標である「つながりあい、高め合おう」という意味だとわかった。

自治



